

そばが打ちたくて始めました

- 趣味の手打ちそば屋『桃介亭』 -

■飯島英雄

そば屋『桃介亭』を始めたきっかけ…

CB社退職後は、楽しく、健康に過ごすことを目標に、2002年春から自然豊かな環境の木曽(南木曽町)で自給自足的な田舎暮らしを始めました。

15年ほど自然農法の野菜づくりに取り組み、一反程の畑で四季の収穫を経験しました。この間は、採れた野菜を知人友人へ無理矢理送付し、都会からの美味しい食材と物々交換する『柿其農園(かきぞれのうえん)』を続けました。この柿其農園と、春秋に原宿で開催した木曽の食材を使った野菜パーティーは、有意義な経験となりました。

また、名古屋からの若い観光客との出会いから始まった畑体験イベント『つまごえん』が10年続きました。春から秋まで毎月2回、日帰りで畑体験+町内観光を行うイベントです。年間延べ70~80人の皆さんが楽しめました。

しかし8年前、地域の春の祭りで飲んだ後、酔って自宅の梁から転落する失態をしましてしまい、骨盤骨折で半年間名古屋の病院で入院生活をする羽目に・・・。

退院時は、杖使用の歩行、車の運転はOKとこのことで山の暮らしは継続できたものの、『柿其農園』『つまごえん』の活動は終了しました。

田舎暮らしのピンチでした。



その時出来ることは“そば打ち”くらいだったので、リハビリも兼ねてそば屋に挑戦することにし、半年の準備期間を経て2017年7月『桃介亭』を開店しました。

今思うと、“怪我の功名”ということですね。



ひとりそば屋の日々…

素人がひとりで、しかも70の手習いで始めることです。無理をしない営業内容を考え、週末金土日の3日間を営業日とし、前後の2日間を準備と片付けに費やすことにしました。営業日は、6:30~16:30の10時間、店内外の清掃から始め、そば打ち、支度、接客、そば茹で、天ぷら揚げ、配膳、洗い物、翌日の仕込みなどの作業が続きます。

かなりハードなリハビリプログラムとなりましたが、お陰様で体調はすっかり良くなり、怪我をしたことを忘れてしまうほどです。

とはいえ高齢者の店なので、清潔感、明るさ、楽しさなどに気を配ることに加え、記憶力の低下による予約忘れ、チェック漏れなどのミス防止にも気を付けています。

お客様からは「急がなくていいですよ!」「ゆっくりやってくださいね!」と声を掛けられています。

今年8年目を迎えた『桃介亭』の状況…

スタートからの2年間は、そば打ちでのロスが5%くらい発生、一日の来客数は平均7人程で、当然来客ゼロの日もありました。

「石の上にも3年」の頃から、ロスは2%程度、一日平均9人ほどに来客数も増えました。コロナ禍は飲食店の休業要請期間もありましたが、営業日の50%が完売日となりました。5年目以降は、ロスは0%、一日平均10人以上の来客数、営業日90%が完売日です。

店を始めた頃は「今日はきちんとそばが打てるだろうか」「お客様が来店してくれるのか」などと心配事が多かったのですが、初心である「そばが打ちたくて始めました」の想いに気持ちを集中し、納得できるそば打ちを心掛ける日々になりました。

何よりも、町内に住む方が掲載してくれたGoogleマップに高得点のクチコミが投稿されてから、有難いことに観光客の予約電話および来店が年々増える状況になりました。



そば屋で、しかも店主が高齢であるため、ご利用者の大多数が60代以上であるのは当然のことですが、来店される観光客の中には、若いカップルやお子様連れのご家族、一人旅の若者など幅広い年齢層の方がおり、大変刺激のある日々です。

地元町内および近隣の方と観光客が1:2くらいの割合で、リピーターのお客様が半数以上を占めるようになっていきます。

大勢の方に支えられている『桃介亭』…

南木曽町で暮らし始めて20年が過ぎました。それ以前のCB社、日産自動車の勤務も含めて大勢の方と出会ってきました。

そうした方々との縁を大切にして、店作り〈什器、食器、展示装飾品、販売品など〉、そして仕入れ食材〈そば粉、野菜、山菜、飲

料、酒類、菓子類など〉の中で活用させていただいています。

私にとって、言わばこの店は人生の集大成です。それらに関心を持たれたお客様とは、会話が弾み、より一層楽しいひと時となるのです。

(次ページより店舗内の写真を掲載しています。是非ご覧ください)



80才にして田舎暮らしを満喫する日々…

田舎暮らしの目標とした「楽しく健康に過ごす」ということは私にとって、

- ①家事がスムーズに出来て
- ②更に打ち込める楽しい事柄があり
- ③その事柄を通じて他人に喜んでもらえる状況をつくることだと思うこの頃です。

特に③の状況から生まれる人とのコミュニケーションを持つことで、単調な日常の彩りとなり、「心身ともに健康で楽しく豊かな暮らし」になったと感じています。





桃介亭の 店内風景

桃介亭は、南木曽駅近くの
天白公園に建つ町の施設です。
以前食堂営業を行なっていた
空き家で、少し手を
加えただけで活用しています。



店内販売の地元産品



栗崎さんの2023年かたちの会作品展出品作



荒崎さんの水彩画ポストカード

桃介亭店舗 と周辺風景

街の中心部に位置する天白公園は、木曽川の流れと周辺の山の豊かな自然風景が魅力的です。
桃介亭のお客様は、その絶景を楽しんでいます。



中央右：桃介亭、左：桃助記念館、左端：中学校



蕎麦と喫茶と休憩所
3月中から11月末の期間
毎週金・土・日の3日間
9:30~15:30
そばが打ちたくて始めました
店主 飯嶋英雄

新聞折り込みチラシとショップカード

(撮影・編集：地域おこし協力隊 清家 早輝)